



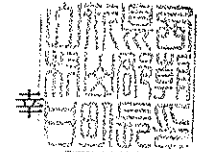
朝建水発第11号

平成19年5月1日

国土交通省道路局長 殿

山形県西村山郡朝日町

朝日町長 鈴木 浩



今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見（提出）

このことについて、別紙のとおり意見書を提出いたしますので、
よろしくお取りはからい願います。

記

別紙意見書のとおり

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

■重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- 地域の活性化を支える道路づくり
 - ・道路は、安全・安心な住民生活や地域の経済活動を支える基盤であり、地域の活性化には欠かせないものである。地方が活性化してこそ国全体が活性化するものであり、道路整備も経済的な効率性という視点だけでなく、こうした観点を配慮し進めていくことが必要である。
- 地域資源を活かし、地域間の交流と地域活力を高めるための道路ネットワークづくり
 - ・地方の活力を取り戻すためには包蔵する地域資源を活かし交流を深めることが必要であり、地域間交流を促進する幹線道路網の高規格化等が必要である。(高速道路へのアクセス強化、国道287号宮宿・白鷹間の改良整備)
 - ・定住人口確保のためには、高次都市機能(高度医療機関、教育機関等)や地域経済の中心となっている都市圏との交流やアクセスのための道路が重要である。(朝日町～山形市間の時間短縮のための道路(県道)整備)
- 安全で安心な暮らしを支える災害に強い道づくり
 - ・公共交通機関の少ない地方住民の多くは自家用自動車に依存しており、未改良道路の早期整備は安全安心な生活のためには必須条件となっており、集落を結ぶ生活道路の改良が必要である。
 - ・雪国における冬季間の道路確保は必要不可欠であり、冬道でも安心して通行が確保できる環境整備が必要である。
 - ・震災等による集落の孤立化が懸念され、震災等災害に強い道路整備が必要である。(県道、町道等の道路改良等)

■効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- 事業施行区間の事前調整
 - ・道路事業を実施する場合並行して上下水道・電力・ガス等の事業管理者も調整し、必要な工事を同時に行うことが必要である。
- 地域実情に応じた道路構造を推進
 - ・全国画一的な基準ではなくローカルルール(1.5車線の道路整備)など、

地域の実情にあった早期に効果が発現できるような道路構造で整備することが必要である。

○ 工期の短縮

- ・集中的に予算を投下し、工期を短縮することが必要である。

■ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- 費用対効果、経済性のみを追求し、事業中止や縮小することなく、辺地集落へのアクセス確保と孤立化を防止するため採択・継続について配慮すべきである。
- 道路財源の削減等により、道路の管理水準が低下（悪化）しており、利用者からの苦情が増加傾向にあり、住民ニーズに応えられるような管理水準を維持できるように、道路財源の確保と利用度を高めるべきである。